

タートを記念して、出演者3人がバスに同乗し「生観光DJ」を披露。「有明海」の面積は1700平方km、平均水深は20mほどの遠浅の海です。最大6mの干満差は世界的にも珍しいものです」「堆積する『ガタ』は阿蘇山噴火の火山灰が元になっているといわれています。ヘドロとは違い、水を浄化したり、田畑の肥料として用いられることもあります」「ムツゴロウの眼は実はハート型です」と有明海の歴史や生物のことなどを楽しい掛け合いで教えてくれる。

あつという間に市街地を抜け、両脇に農地が広がる農村地帯を突っ切る。青い稲が風に揺れている。約30分で「東よか干潟」に到着。ピカピカのバス停が夏の光を反射している。途中、県立博物館前に停まっただけで、ほぼノンストップ。しかも料金は一乗車150円だ。

ガタスキーで漁

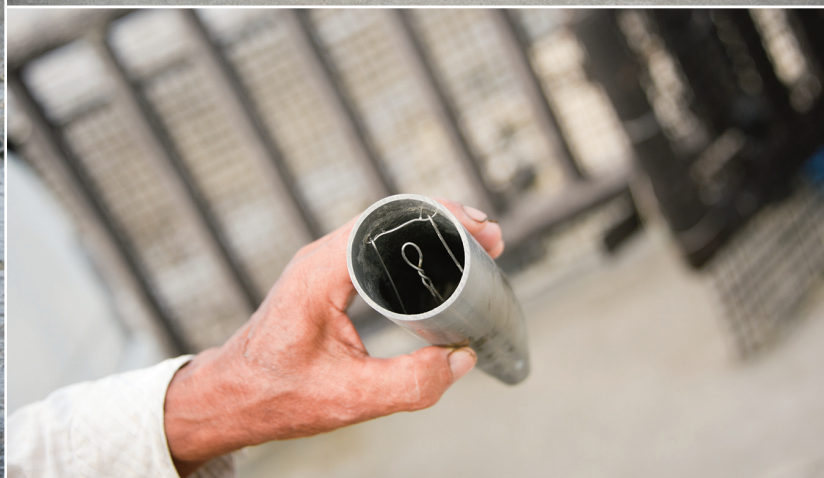
バスから降りると、子どもたちの歓声が。干潟よか公園にはじゃぶじゃぶ池やアスレチックなど楽しく遊べる施設がたくさんある。特に大人気だったのが「急降下滑り台」だ。4m近くの高さから、ほぼ垂直に落ちるスリル満点の遊具。尻込みする大人を尻目に、小さい子どもたちが、嬉々として滑り

続ける。

公園を抜け、堤防の上に立つ。左手には雲仙、正面から右手にかけては多良岳が見える。広大な干潟の手前には「シチメンソウ」が群生している。11月ごろには、鮮やかな紅葉を見せてくれるという。堤防を降りて海辺に行く。有明海の代表的な生物「ムツゴロウ」と片方のハサミが大きい「シオマネキ」が間近に見える。沖の方に目を凝らすと、スワットと海岸に平行して移動している人影が。ガタスキーを使った漁師さんだ。進行方向を追いかけると、東よか海岸の東端に近づいていく。

「きょうはあんまり獲れなかったよ」と話してくれたのは地元・東与賀町の漁師、田中義登さん(75)。「タカッポ」という筒状の罟でムツゴロウ漁をしていたという。タカッポは塩ビ管の片方の端を塞ぎ、逆側の入り口に針金で作った金具を仕掛け、一度入った獲物を逃さないようにした罟。「全部手作り、金具は漁師さんによってそれぞれ違う。全部で130本くらい、ムツゴロウの巣穴に仕掛ける。今日の収穫は100匹弱やったね」。

移動に使うガタスキーは約2m、杉の一枚板を焚き火で曲げて作るという。板の上には大きなカゴとスポンジがくくりつけてある。「片足でガタを蹴りながら進む。左に曲がるときは逆足の右で蹴り、右に曲がるときは左足





世界的に貴重な自然

田中さんにお礼を言って、再び堤防

真夏の炎天下の屋下がり。「潮が引いたら沖に出て、そのまま7時間くらい漁を続ける」と涼しい顔の田中さん。獲ったムツゴロウは泥を吐かせて、翌朝、蒲焼にして市場へ持っていくという。「梅雨前まではワラスボ、これからはモガイも獲る。9月からはムツカケ漁もするよ」。ムツカケ漁では釣竿の先につけた掛け針でムツゴロウを引っ掛けて釣る。交尾のため潟の上に出てきたムツゴロウを狙うという。田中さんは、2006年、「全国豊かな海づくり大会」で天皇・皇后両陛下の前でムツカケ漁を披露した経歴を持つ名手。「一人前になるのに時間のかかる漁で、最初の頃は1日1匹も釣れなかった。慣れれば1日300匹くらいとれるから、タカッポより効率は良かよ。今度、また見にきんしゃい」と話してくれた。

まっすぐ進むときはだいたい右足で、ときどき左足。干潟の同じ場所を毎日通っていると溝ができて、進みやすくなる。でも溝から一歩出たら大変。後ろが左右に振られてまっすぐ行くのも難しか」と田中さん。雨道でドリフトする車を運転するようなものというこ



潟も選ばれた。当時の東与賀町議会は登録に前向きだったが、県は渡鳥を保護することによる農水産物の被害や佐賀空港のバードストライクを懸念し難色を示した。2013年、佐賀市が検討委員会を設置し登録へ一気の話が進み出す。ここで問題になったのが登録の範囲。当初、環境省は、沖合までできるだけ広い範囲での登録を求めている。しかし、漁業や防災面などの兼ね合いを考えると面積は縮小せざるを得ない。市役所や県庁の全担当部署、地元の住民や漁業者による意見交換を重ねて、どの分野にも大きな影響を与えず、環境も保全できる面積として東よか干潟海岸から700m沖合までを登録することに決めた。

地元の東与賀町では小中学生を中心に「干潟の探検隊」や「東与賀ラムサールクラブ」が活動しており、野鳥や干潟観察などを行っている。また地元住民や漁業関係者による清掃活動やシチメンソウの保全活動も行われている。しかし、この世界的に貴重な湿地を守り育てるためには、海辺だけでなく、平野部、山間地までを含めた佐賀市全域の市民の環境意識の高まりが不可欠だ。自然と人の共生。ラムサール条約の精神を実現するために、まずは東よか干潟に足を運び、そこで行われる自然と人の営みを体感してほしい。

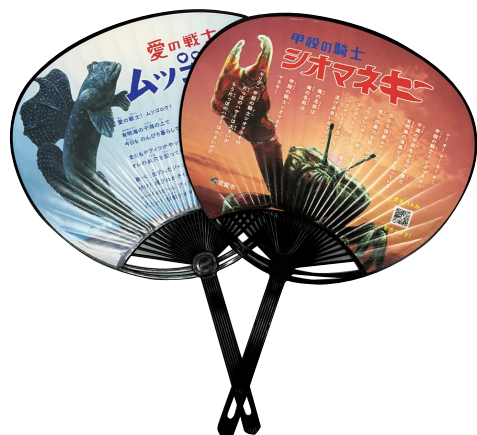
登録された理由としては、東よか干潟が、渡鳥の国内有数の飛来地であること、ムツゴロウやシチメンソウなど有明海特有の動植物がいること、ノリ漁を始めとした伝統的な漁法が存在していることが挙げられる。特に渡鳥のシギ・チドリ類が日本で一番飛来する場所（平成26年環境省調べ）であり、絶滅危惧種であるクロツラヘラサギ、ズグロカモメ、ホウロクシギなどが羽を休める場所として高く評価されている。まさに世界的に貴重な干潟なのだ。

登録面積は218ha。この範囲を確定するまでには根気強い話し合いが行われた。11年前、環境省が同条約登録候補地として54カ所を選定、東よか干

の上から、東よか干潟を眺める。白い水鳥が潮の引いた干潟で優雅に羽を休めている。これから寒くなると越冬のために、もっとたくさんの鳥たちが北国から渡ってくるという。東よか干潟は今年5月、「ラムサール条約湿地」に登録されたことで脚光を集めた。ラムサール条約とは「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地」の保全と人類による持続的な利用を目的とした条約。現在168カ国2208カ所、日本では1980年の釧路湿原を最初の登録地として現在50カ所が登録されている。ちなみに「ラムサール」とは1971年に同条約が採択されたイランの都市名だ。

ガタバトル特設サイト

<http://www.saga-city.jp/gatabattle>



南部周遊バスの車内でもらえる
「ガタバトル」オリジナル特製うちわ



佐賀市南部 お宝クイズラリー

クイズラリー参加方法

- ★ クイズシートハガキを、クイズ設置場所の6ヶ所のいずれかで入手してください。
- ★ 各ポイントのクイズボードの問題を解き、解答欄に記入してください。
- ★ 6ヶ所中3ヶ所以上のクイズに解答を記入して、クイズシートハガキに52円切手を貼って応募してください。

クイズ設置場所

- ① 佐野常民記念館 ② 干潟よか公園（月曜日休み） ③ 橋の駅 ドロンパ
- ④ 佐賀城本丸歴史館 ⑤ JR 佐賀駅観光案内所 ⑥ 有明佐賀空港

賞品

- 佐賀牛® ステーキ肉3枚 …… 5名様
- 佐賀海苔 …… 10名様
- さがびより 2kg …… 25名様

限定 オリジナルグッズ

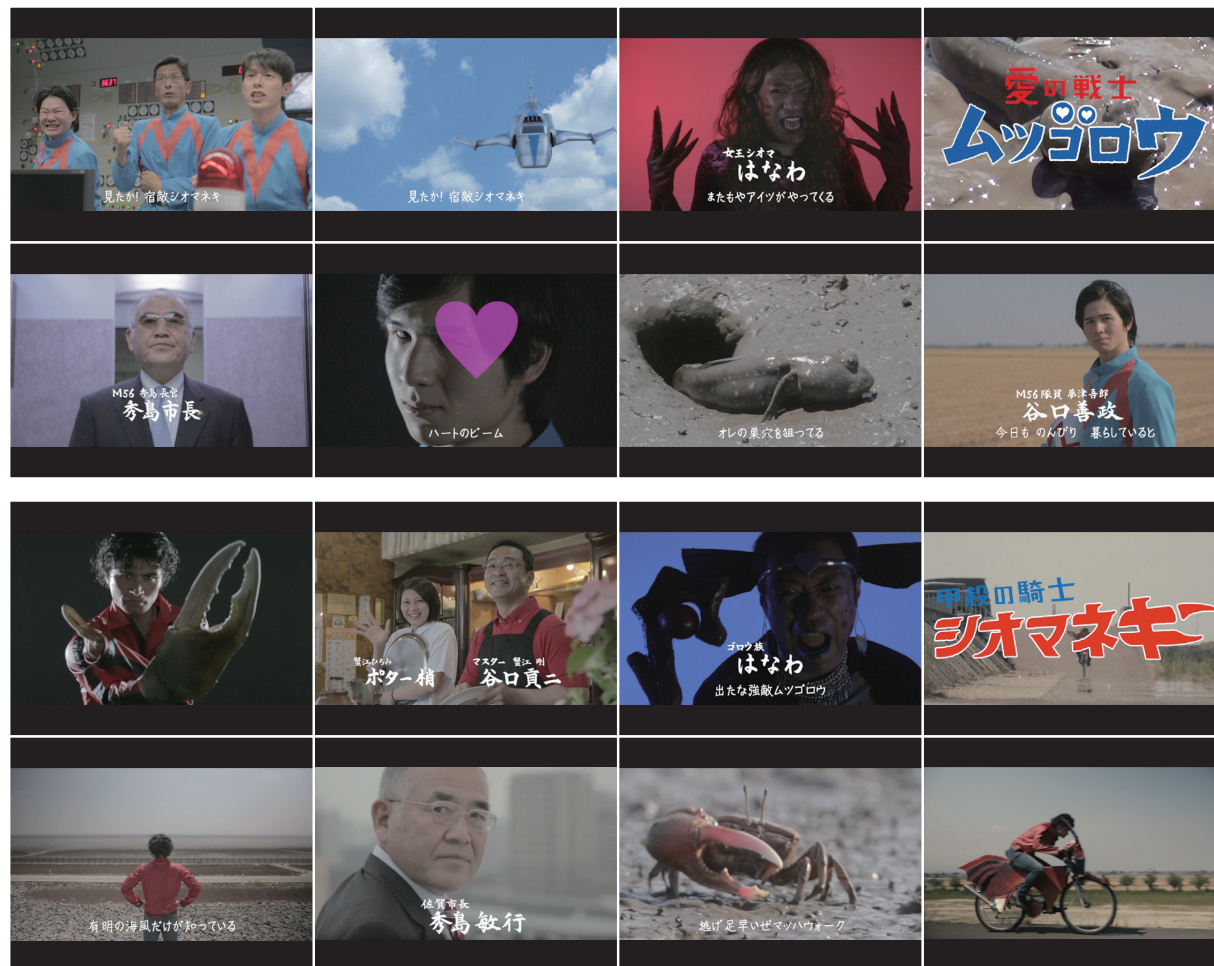
- 三重津海軍所跡キーホルダー …… 100名様
- フィールド手帳 …… 100名様

★ 当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。 ★ 締切／平成27年9月30日（水） 当日消印有効
★ 参加はお一人様1回です。

お問い合わせ 佐賀市観光振興課 TEL 0952-40-7113



総勢
240名様に当たる!!



有明海の自然と人の営みを満喫し、もう夕方。帰りのバスを待つ。往きの車内でもらった特撮風うちわをあおいでいると、シオマネキとムツゴロウのイラストが気になった。スマホで検索してみる。辿りついたのは有明海の生物を主役にした佐賀市のPR動画「ガタバトル」愛の戦士ムツゴロウVS甲殻の騎士シオマネキ」。ムツゴロウとシオマネキの干潟の上での縄張り争いを、特撮ヒーロー風に仕立てている。ムツゴロウとシオマネキをそれぞれ主役と敵方に配した2本立てだ。各1分ちよつとの時間だが、仮面ライダー風なオーブンソングの歌詞がマニアックでツボにはまる。悪役でお笑い芸人はなわさんが出演していた。

この動画は佐賀市シティプロモーション室が仕掛けたPR動画第2弾。昨年公開されたワラスボをSF映画の予告編チックに紹介した「W・R・S・B」は再生回数14万回を超えるなどネットを中心に注目を集め、東京はもとより全国から取材依頼が来るなど大きな話題となった。今回の動画は、家族連れに有明海まで足を運んでもらうことが目的。戦隊ものが好きな子どもたちと、昭和の特撮ヒーローもものので育ったお父さん世代をターゲットにしている。佐賀市内の保育園32カ所に、動画を収録したDVDを配布、空き時間に流してもらっているという。シ

ヒーロー特撮風に紹介

オマネキやムツゴロウにハマる園児とお父さんが続出しているらしい。特設サイトには、両者を「よかね」ボタンで応援する仕掛けや生地の紹介ページ、ムツゴロウの「ハート・ビーム」、シオマネキの「マツハ・ウォーク」など必殺技の紹介ページを用意。南部周遊バスを利用した干潟観光のモデルプランも掲載している。動画は予告編、本編は実際に有明海でムツゴロウとシオマネキのバトルを目撃すること。非常に面白い仕掛けだ。

そうこうしているうちにバスが到着。往きと逆回りの「シオマネキ号」を使ってバスセンターに戻る。今回は東よか干潟だけで終わったが、南部周遊バスの停留所は三重津海軍所跡や昇開橋など、見どころがたくさんある。家族や友人とゆっくり回りたいという人には「南部周遊フリー1日乗車券（大人500円、小児250円）」がオススメ。南部周遊バスと佐賀市中心部の指定区域内が1日乗り放題になるほか、5箇所の観光施設や飲食店でお得な割引やサービスの提供を受けられるクーポン券が付いている。また9月30日まで佐賀牛ステーキや佐賀海苔が当たる「お宝クイズラリー」を実施している。クイズシートハガキは干潟よか公園や佐野常民記念館など6カ所に設置。6カ所中3カ所以上クイズに答えると応募できる。クイズで楽しみながら佐賀市南部のことを学ぶことができる。南部周遊バスで格段にアクセスが良くなった佐賀市南部を遊びつくそう!!